

府老連

きょうと

2019.10

No.167



丹後ブロック女性部が八幡市老連を訪問

ダンスで交流！

9月6日の「丹後ブロック女性リーダー研修会」では、宇治の平等院を見学した後、参加者80名が八幡市老人憩の家「八寿園」を訪問しました。

女性部による民舞や囲碁などサークル活動を見学した後、社交ダンスに飛入り参加。ステップを教わりながら楽しく交流しました。活動交流をとおして、誰でも気軽に利用できる「通いの場」の大切さを再認識しました。

令和元年度 市町村老連リーダー研修会

～「健康づくり・介護予防」の取組を活動の重点に！～

7月16日、ハートピア京都において、令和元年度「市町村老連リーダー研修会」を開催しました。
参加者は205名と会場は満席で、基調報告と事例発表の後、太田先生の軽妙な話術で始終笑いの中、楽しく有意義な研修となりました。

●あいさつ

府老連会長 西村 成晴



西村会長から「5カ年にわたって取り組んできた『1万人会員増強運動』は、厳しい結果となったが、一方新たな取組など多くの成果もあった。

これらの成功事例をもとに、引き続き会員増強運動を推進していく。」と、呼びかけました。

●基調報告

「1万人会員増強運動の5カ年を総括する」

府老連 中川常務理事・事務局長

運動の総括として
・会員数が減少した要因
・市町村の新しい取組や成功事例
・舞鶴市老連における「クラブ復活作戦」について報告がありました。
特に、5カ年の教訓を踏まえて、これからは、



中川常務理事の報告



- ① クラブの解散を組織をあげて防止する
 - ② 若い世代に魅力あるクラブづくりを進める
 - ③ 「同世代」「同性」「同趣味」による勧誘が効果的など、説明しました。
- また、今後の活動に向けた「5つの実践目標」が提案されました。
※概要は4～5ページに掲載

●事例発表

「健康づくりで会員増強」
やすらぎクラブ長岡京 山本会長



「老人クラブの最大の目標は『健康』を最大のテーマに、これまでの健康づくり事業について報告しました。

- ① 平成25年の「全老連健康づくりセミナー」への参加を機に「健康」に重点化
- ② 平成26年「健康づくり部」を新設
- ③ 「各単位クラブに健康づくり推進員を！」を合言葉に「健康づくりリーダー研修会」を5カ年にわたって開催し、計92名の推進員を養成
- ④ 「体力測定」「健康教室」の開催

こうした取組は、市高齢介護課と地域包括支援センターと共同開催で、いかに市や社協とコラボするかがカギ」と話されました。



●講演

「こころとからだの健康

くなくて七癖 ころろ癖」

マーベルハート主宰・心理カウンセラー

太田 夏江 氏



に気をつけることとして、

①食…健康は口から

②息…悪いマイナスイメージを吐き出すこ

と

③動…体を動かすこと

④想…プラスの考え方をすること(嬉しい・

楽しい・感謝など)

こうしたことにより、免疫力がアップし、

「笑う顔には福

来る」と話され

ました。

最後に、「年を
重ねただけでは
人は老いない。
理想を失うとき
初めて老いる。」
と言われたこと
が印象的で、ま
さに心と体は両
輪であることを
実感しました。



先生ご自身がカウ
ンセリングを行って
こられた経験を踏ま
えて、楽しくお話し
されました。
「心と体は車の両
輪」で、日頃から特

若手リーダー研修会 「公式ワナゲ京都府交流大会」で熱戦！

競技の結果

団体戦

優勝	綾部B	1068点
準優勝	舞鶴A	1042点
第3位	八幡C	986点



個人戦

優勝	木村 一良 (亀岡市)	480点
準優勝	野崎 英男 (八幡市)	480点
第3位	窪田 丸 (井手町)	457点
第4位	大槻 道和 (綾部市)	339点
第5位	梅木 徳夫 (舞鶴市)	319点
第6位	久保田勝己 (木津川市)	309点
第7位	武藤 守 (宇治市)	273点
第8位	松岡 稔 (長岡京市)	270点
第8位	大町 亮一 (宇治市)	270点
第9位	荒木 伸一 (舞鶴市)	260点
《パーフェクト賞》		
	野崎 英男 (八幡市)	
	窪田 丸 (井手町)	



真夏のような猛暑の中、
会場も熱気に包まれた大会
となりました。
野崎選手(八幡市)と窪
田選手(井手町)がパーフェ
クトを出した時にはひとき
わ大きな歓声が上がりました。

「公式ワナゲ京都府
交流大会」が9月11日
に八幡市民体育館で開
催されました。
当日は、22市町村か
ら63チーム、選手と役
員、応援計350名が参加
し、熱戦が繰り広げら
れました。



個人の部 優勝 木村さん



団体の部 優勝 綾部Bチーム

団体の部は綾部Bチーム
で、昨年の準優勝に続いて
今回は猛練習の結果、悲願
の優勝。
毎年開催される大会をと
おして、公式ワナゲはま
ます広がりを見せています。

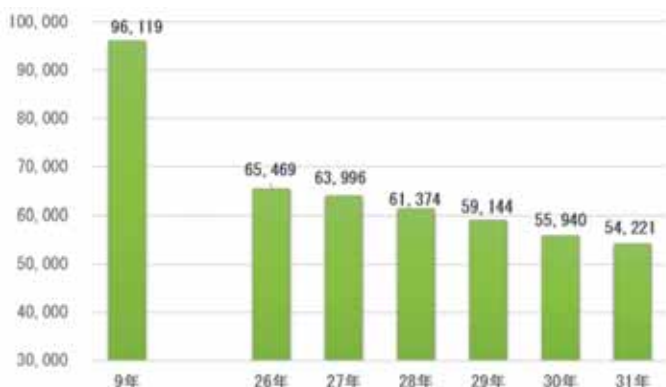
「1万人会員増強運動」 の成果と課題



7月16日の「市町村老連リーダー研修会」で府老連事務局から5カ年の総括・まとめの報告がありました。その一部を掲載します。

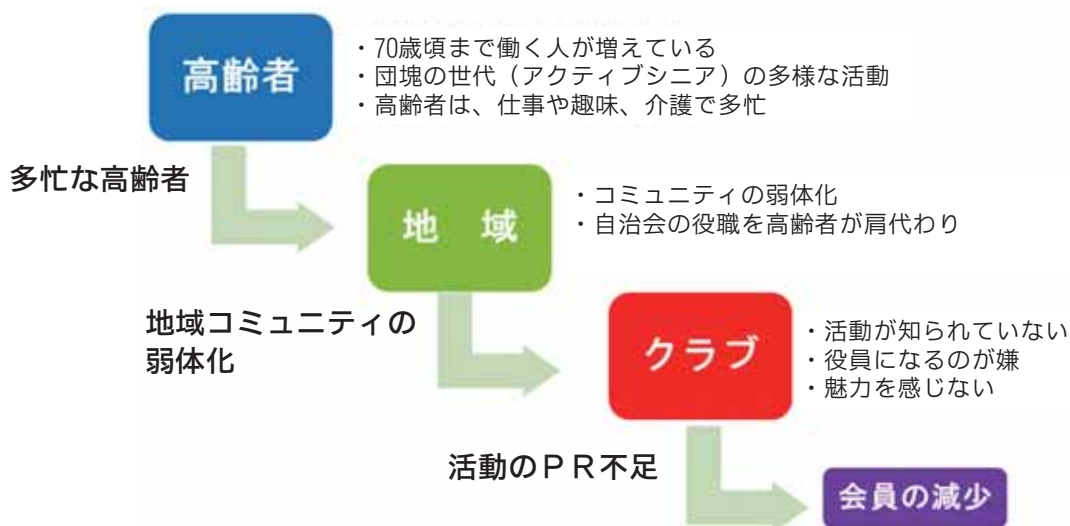
**5カ年の取組
を総括する**

現 状 老人クラブ「会員数」の推移



- 平成9年をピークに、依然減少傾向が続いている。
- 平成31年は減少幅が縮小するなど、明るい兆しも見えてきた。
- 傾向として、北部ほど減少幅が大きく、市町村間の格差も見られる。

分 析 なぜ会員数が減少するのか・・・



成 果 会員増につながった新たな取組

- 解散クラブの復活作戦
- 若手委員会の立ち上げ
- 個人会員制度の導入
- 健康マージャンの普及
- 機関紙の創刊・充実

伊根町・舞鶴市 他
綾部市 他（他10市町）
福知山市・綾部市（久御山町、長岡京市 他）
宇治田原町 他（八幡市 他）
木津川市、向日市 他（17市町で機関紙発行済）

※（ ）は既に実施済

さらなる会員増強に向けて「5つの実践目標」

～ これまでの成果と教訓を今後につなげましょう！ ～

1 「楽しい」活動が第一

【実践内容】

【問題点】

- 魅力やメリットが感じられない
- 若い年齢層にあった活動がない

- 「趣味や娯楽」「いきいきサロン」など、無理なく気軽に楽しめ、かつ持続できる活動が第一
- 体力測定やスポーツなど、「健康づくり・介護予防に役立つ」取組を
- 団塊の世代（アクティブシニア）に向けた「サークル活動」の充実を

2 「情報発信」で老人クラブの「イメージアップ」を

【問題点】

- 「老人」クラブへの抵抗感
- 活動内容や魅力が知られていない

- 老人クラブを知ってもらうため、「入会案内チラシ」や「機関紙」を作成してPR
- 自治会・町内会でチラシやパンフを「回覧」
- 友愛・奉仕などの「地域貢献」を積極的にアピール

3 会員みんなで「分担」し、役員の負担を軽く

【問題点】

- 役員になりたくない
- 役員の後継者がいない

- 役員の後継者や次世代のリーダーを育てる工夫を
- 一部の役員に負担がかからないよう、業務をみんなで分担
- 「女性」や「若手」の会員など多くの会員が関わり、新しい風を！

4 地道な「声かけ」で粘り強く勧誘を

【問題点】

- 勧誘されたことがない
- 個人情報の壁があり誰に勧誘したらいいの？

- 「勧誘グッズ」（チラシ、入会パンフ、機関紙）の準備を
- 未加入者も参加できる「体験型のイベント」を実施
- 「同世代」（高年は高年を、若手は若手を）「同性」（女性は女性を）「同趣味」による勧誘が効果的

5 自治会や社協など地域の団体と「協力関係」を

【問題点】

- 老人クラブだけでは限界がある
- 行政や関係団体と交流する機会が少ない

- 行政との「定期的な懇談会」を開催
- 子どもの見守りや奉仕活動に参画する中で、顔の見える関係を
- 地域包括支援センターや社協、民生委員との定例会の開催

ブロック別 女性リーダー研修会を開催

～ バス旅行 & 活動交流 ～

女性リーダーの育成を目的に、府内3ブロックで「女性リーダー研修会」が開催されました。
本年度は5年ぶりに名所・施設を巡る研修旅行を実施。いずれもバスが満員となる大盛況で、市町村相互の交流を深めました。

丹後ブロック 9月6日(金)

参加者：81名

◆ 平等院と萬福寺を見学
◆ 八幡市老連女性部との交流

丹後・舞鶴からバス3台が宇治に集合し、世界遺産平等院を見学。

午後は萬福寺を見学した後、35℃を超えるあまりの暑さに急遽予定を変更し、八幡市老人憩の家「八寿園」を訪ねることにしました。



大広間で女性部の民舞や囲碁等のサークル活動を見学した後、社交ダンスでは飛び入り参加。初めてのダンスを体験し、楽しく交流しました。



西村会長から説明

最後に、市老連の西村会長(府老連会長)から、「八寿園」は囲碁やサークルなど一日中気軽に参加できる「通いの場」になっていることが報告されました。
参加者からは、「すばらしい施設でうらやましい」「こんな活動拠点をつくりたい」など、今後の活動に大変参考になりました。
突然の訪問にも関わらず、八幡市の皆さんには温かく対応いただき、女性部相互の「絆」が一層深まりました。

山城ブロック 9月10日(火)

参加者：83名

◆ 北淡震災記念館を見学
◆ 淡路人形座(人形浄瑠璃鑑賞)

15市町村の女性部が午前8時に京都駅に集合、バス2台で淡路島に向けて出発。バスの中では、各市町村老連女性部から日頃の活動について報告があり、交流を深めました。

午前は「北淡震災記念公園」を見学、野島断層を見て、改めて地震の規模と被害の大きさを学習しました。

洲本市内で昼食の後、「淡路人形座」に到着し、重要無



形民俗文化財である人形浄瑠璃を鑑賞。人形とはいえ、人間以上のしぐさや顔の表情など、伝統の「技」に感動しました。



◆福知山城・あやべグンゼスクエ
アを見学
◆活動交流(中丹勤労者福祉会館)

丹波ブロック 9月27日(金)

参加者…110名

9月とはい
え残暑が厳し
い中でしたが、
一日中和やか
に交流するこ
とができた。



10時に福知山城に集合した後、お城見学の「Aコース」と丹波生活衣館とスイーツの「Bコース」に分かれて視察。観光ボランティアガイドの説明も受けながら明智光秀が築城した当時の歴史について学びました。

中丹勤労者福祉会館での「活動交流研修」では、5市町老連の女性部長から最近の活動について報告があり、昼食では、ハーモニカ演奏や歌など、楽しく交流しました。

午後は、福知山市から「市の防災の取組について」講演があり、その後バスにのりて綾部市のグンゼスクエアを見学。

福知山と綾部の名所を訪問し、また、活動交流など、盛りだくさんの内容で有意義な研修となりました。

当番老連の福知山市老連女性部の皆さんには大変お世話になりました。



福知山市 荻野さん



綾部市 森永さん

「SKYフェスティバル」で活動をPR!

～公式ワナゲコーナーに1,000名が体験参加～



恒例の「SKYフェスティバル」は、豊かな長寿社会をめざしたシニア・高齢者のイベントで、本年も2日間で延べ一万六千人の参加がありました。

その中でも、府老連が出展した公式ワナゲの「体験コーナー」は、高齢者から子ども達まで、2日間で一千名を超える参加があり、終日大好評でした。

ワナゲの関心は高く、老人クラブ活動のPRにもなりました。

9月14日(土)・15日(日)に京都パ
ルスプラザ(伏見区)で開催された
「SKYフェスティバル」に、府老
連若手委員会から「公式ワナゲ」の
体験コーナーを出展しました。

公益社団法人 京都府青少年育成協会

～ 明るい家庭と地域の輪が育てる 心豊かな青少年 ～

京都市上京区出水通油小路東入 京都府庁西別館3階

TEL 075-417-0602

ホームページ <http://www.kyoto-seishonen.or.jp>

■ 京都府青少年育成協会とは

次代を担う青少年が、豊かな心をはぐくみ、社会の一員として自立し、心身ともに成長することを願って昭和42年9月に結成された府民運動団体です。

構成団体である各市町村の青少年健全育成協議会「青少協」や、青少年団体と連携して街頭啓発や青少年の自主活動を支援しています。

（主な活動）

青少年の非行・いじめ・ひきこもり・児童虐待・薬物乱用の防止などの街頭啓発

「青少年すこやかフォーラム」・「青少年育成市町村民会議」の開催

「明るい家庭づくり（家庭の日）絵画展」、「少年の主張京都府大会」など



■ 正会員・賛助会員を募集しています

青少年活動を支援し、推進していただける団体・個人の方で、年会費は（個人）2,000円（団体）3,000円

※「賛助会員」として団体や企業・個人の方も募集しています（年会費 2,000円 1口以上）

■ 京都府立青少年海洋センター「マリーンピア」

京都府宮津市宇田井382 TEL 0772-22-0501

丹後半島を望む風光明媚な栗田半島に位置する「宿泊研修施設」で、青少年団体やサークル活動にご利用いただけます。

【主な施設】 研修室、講堂、体育館、野外炊事場、トレーニング場など



府老連

2019. No. 167

きょうと

令和元年10月発行 発行人 西村 成晴

発行 行 （一財）京都府老人クラブ連合会
（愛称：きらりクラブ京都）

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375
京都府立総合社会福祉会館
（ハートピア京都）8階

TEL (075) 256-7955 FAX (075) 256-7956

E-mail: mail@k-furouren.or.jp

URL: <http://www.k-furouren.or.jp>



きらっ都くん

編集後記

先日の府老連「公式ワナゲ大会」は、残暑が厳しく、本日に暑い日でしたが、会場は熱気にあふれ、63チームが熱戦を繰り広げました。

若手委員会では、28年度の「ワナゲ講習会」以降4年にわたって公式ワナゲの普及に取り組んできました。その甲斐あって、今ではほとんどの市町村で大会が開催され、ワナゲクラブも数多く誕生しています。

また、高齢者と子ども達が一緒に楽しむなど、世代間の交流にも役立っています。

いつでも・誰でも・気軽に参加できるワナゲを普及して、「健康づくり」「仲間づくり」の輪をさらに広げていきたいと思っています。

（広報・若手委員 武藤）